



ヘルプを表示します

ASA r2

NetApp
February 11, 2026

目次

ヘルプを表示します	1
ASA R2ストレージシステム上のAutoSupportを管理します。	1
AutoSupport接続のテスト	1
AutoSupport受信者の追加	1
AutoSupportデータの送信	2
サポートケースの生成を抑制	2
サポートケースの生成を再開	2
ASA R2ストレージシステムのサポートケースの送信と確認	3

ヘルプを表示します

ASA R2ストレージシステム上のAutoSupportを管理します。

AutoSupportは、システムヘルスをプロアクティブに監視し、NetAppテクニカルサポート、社内のサポート部門、およびサポートパートナーにメッセージを自動的に送信するメカニズムです。

テクニカルサポートへのAutoSupportメッセージは、クラスタのセットアップ時にデフォルトで有効になります。メッセージを社内のサポート部門に送信するには、正しいオプションを設定し、有効なメールホストを指定する必要があります。ONTAPは、有効になってから24時間後にAutoSupportメッセージの送信を開始します。

開始する前に

AutoSupportを管理するには、クラスタ管理者である必要があります。

AutoSupport接続のテスト

クラスタのセットアップが完了したら、AutoSupport接続をテストして、テクニカルサポートがAutoSupportによって生成されたメッセージを受信することを確認する必要があります。

手順

1. System Managerで、*[クラスタ]>[設定]*を選択します。
2. AutoSupport の横にある*を選択し、 Test connectivity *を選択します。
3. AutoSupportメッセージの件名を入力し、 * Send test AutoSupport message *を選択します。

次の手順

テクニカルサポートがASA R2システムからAutoSupportメッセージを受信できることを確認し、問題が発生した場合に支援するために必要なデータをテクニカルサポートが受け取っていることを確認しておきます。

AutoSupport受信者の追加

社内のサポート部門のメンバーを、AutoSupportメッセージを受信するEメールアドレスのリストに追加します。

手順

1. System Managerで、*[クラスタ]>[設定]*を選択します。
2. AutoSupport の横にある*を選択し、 More options *を選択します。
3. [Eメール]*の横にあるを選択し , を選択します .
4. 受信者のEメールアドレスを入力し、次に受信者カテゴリを入力します。

パートナーの場合は、受信者カテゴリとして*パートナー*を選択します。社内のサポート組織のメンバーには、*[全般]*を選択します。

5. 保存を選択します。

次の手順

追加したメールアドレスには、特定の受信者カテゴリの新しいAutoSupportメッセージが送信されます。

AutoSupportデータの送信

ASA R2システムで問題が発生した場合、AutoSupportデータを使用すると、問題の特定と解決にかかる時間が大幅に短縮されます。

手順

1. System Managerで、*[クラスタ]>[設定]*を選択します。
2. AutoSupport の横にある*を選択し \vdots 、 Generate and send *を選択します。
3. AutoSupportメッセージの件名を入力し、*送信*を選択します。

次の手順

AutoSupportデータがテクニカルサポートに送信されます。

サポートケースの生成を抑制

ASA R2システムでアップグレードまたはメンテナンスを実行する場合は、アップグレードまたはメンテナンスが完了するまでAutoSupportでサポートケースが生成されないようにすることができます。

手順

1. System Managerで、*[クラスタ]>[設定]*を選択します。
2. AutoSupport の横にある*を選択し \vdots 、 Suppress support case generation *を選択します。
3. サポートケースが生成されないようにする時間数を指定してから、ケースを生成しないノードを選択してください。
4. 「*送信」を選択します。

次の手順

指定した時間内はAutoSupportケースは生成されません。指定した時間が経過する前にアップグレードまたはメンテナンスが完了した場合は、サポートケースの生成をただちに再開する必要があります。

サポートケースの生成を再開

アップグレードまたはメンテナンス期間中にサポートケースが生成されないようにした場合は、アップグレードまたはメンテナンスの完了後すぐにサポートケースの生成を再開する必要があります。

手順

1. System Managerで、*[クラスタ]>[設定]*を選択します。
2. AutoSupport の横にある*を選択し \vdots 、 Resume support case generation *を選択します。
3. 生成されたAutoSupportケースを再開するノードを選択します。
4. 「*送信」を選択します。

結果

ASA R2システムのAutoSupportケースは、必要に応じて自動生成されます。

ASA R2ストレージシステムのサポートケースの送信と確認

サポートが必要な問題が発生した場合は、ONTAPシステムマネージャを使用してテクニカルサポートにケースを送信できます。ONTAPシステムマネージャを使用して、完了したケースや進行中のケースを確認することもできます。

"[Active IQに登録済み](#)" ASA r2 システムのサポートケースを表示する必要があります。

手順

1. サポートケースを送信するには、System Managerで*[クラスタ]>[サポート]を選択し、[Go to NetApp Support]*を選択します。
2. 以前に送信されたケースを表示するには、System Managerで*[クラスタ]>[サポート]を選択し、[ケースを表示]*を選択します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。